



寂しさを享受する

枕 淳

(訳 萩田麗子)

夜が深くなった。だが、窓の外の雨音で眠りはすっかり消え去っていた。雨はすべてをはき出すかのように降り続いていた……昼間、授業のあと、一人で寂しく座っていた篠原さんのことを思い出した。彼女に、「このごろ授業中に、何か『心ここにあらず』、という感じがするのですが、どうしてですか?」、と聞こうとしたら、その前に彼女がこう話してきた。「先生。先生は孤独じゃないですか? 寂しくないですか?」私は何も考えずに即答した。

「孤独で寂しい時はもう過ぎてしまいましたよ……」

「孤独で寂しい時」を持たない人がいるのだろうか? だれでもが一生のうちに、多かれ少なかれ寂しさを経験しているものだ。「寂しさ」という言葉には孤独、苦汁、迷い、憂い、悲しみ、といった負のイメージがあるが、それだけではなく
ねいせい
寧静(安らかで静かなこと)、悠遠(悠々たるさま)、美しさ、洒脱(すべてのことを気にせず堂々としているさま)、含蓄(表面に現れない深いこと)といったプラス面のイメージも含ま

れる。

ある人の寂しさは心のうちに隠されており、心貧しき者も寂しいだろう、心豊かな者も寂しいだろう。明るい性格の人の寂しさは外側の浅いところにあるかもしれないし、内向的な人の寂しさは内側の深いところにあるのかもしれない。

これまでの数年間、私はずっと耐え難いほど寂しくて、忍び難いほど孤独であった。だが辛抱し通した。今になって思うのは、「私はこの寂しかった時に感謝しなければならぬ」、ということだ。なぜなら、寂しさを辛抱する過程そして辛抱し通したときの「愉悦（心から喜び楽しむこと）」が私に、孤独に対する新しい悟りを開かせてくれたからだ。

私にとって寂しさは、時には孤高であり、この時、私のそばにはだれもいる必要はない。ただ一杯のブラックコーヒーと、これ以上はないというほどの古いレコード一枚があればいい。

ある時にはすべてのことを気にせず、だれも伴わずに私はリュックを背負って、長かろうと短かろうとかまわず旅をする。

ある時には気がふさぎ、年老いた父母を思い出し、自分の親不孝を感じて自責の念にかられる。

ある時には気が大きくなって、一杯の酒を飲み、酒の力を借りて、本来ならば遠慮すべきようなことをすべて思う存分言ってしまう。

あるときにはもの静かに、古いお寺に身を置き、ただ鳥の鳴き声に耳をすませ溪流をながめる。

いま私は、「寂しさは楽しむために利用すべきものではないだろうか」と言うことができる。なぜなら、一人でこの和室にいと、障子の向こうから軒を伝って落ちる雨がベランダを打つ音が聞こえてきて、何と雨音を数えることができるし、静けさの中でポタッ、ポタッ、ポタッという音を聞いていると、苛^{いらだ}立った心

は落ち着き、欲望に^{むしば}蝕まれた心は雨に洗い流されたようにきれいになるからである。この時、心はゆったりとして満ち足りている。

しかしながら、だんだん騒がしく煩雑になっているこの世の中で、多くの人々がますます孤独を感じ、ある者の才気は消滅し、ある者の個性は失われ、ある者の希望は疲弊する。

それにしたがって、精神状態がおかしくなる者が在る、病魔に身体を侵される者が在る、自らの命を絶つ者が在る、人を傷つけ己を害する者が在る、等々のことが起こり、これらが原因となり社会に不安が生じる。

実は「寂寞（ひっそりして寂しいこと）」と「交往（行ったり来たりして付き合う）」という言葉はけっして相反するものではない。あるときは寂しさと孤独は一種の財産だと言えるかもしれない。張愛玲^①が言ったことを私は覚えている。「私たちはみんな寂しさに慣れてしまった人間なのである。」

寂しいとき、気分が落ち込まないように方策を講じることができないだろうか。何かをちょっと勉強してみる、見てみる、してみる、そしてあなたをよく知っている人とおしゃべりをする。

あなたが充実し豊かになったそのときにはじめて、寂しさは一種の心地よい経験となり、寂しさを楽しんで利用し、寂しくない時にはできなかったことをして、享受することのできなかつた喜びと楽しみを得ることができるだろう。

このような時にはじめてあなたは、ある有名な人物が言った「寂しさはまさに清福^②である」ということばの真の意味を深く理解することだろう。

2015年6月10日

①張愛玲（1920～1995）……中国の小説家、脚本家。代表作に『金鎖記』『傾城之恋』『半生縁』『怨女』『赤地之恋』『秧歌』などがある。

②清福……安らかな生活を送り、精神的な幸福を得ている状態を指す

此时竟是可以静数其声，静听其音，在“滴答、滴答”的雨声中，烦躁的心会归复平和，被欲望侵蚀过的心也好似得到了雨的冲刷而净化，这时候心是那样的悠然。

然而，在越来越喧闹烦杂的尘世中，那么多的人却越来越孤独，有人的才情被泯灭，有人的个性被消枯，有人的希望有了疲倦感。

随之，精神恍惚者有之、病魔侵身的有之、自寻短见的有之、伤人害己的有之，等等都出现了，社会因此出现不安。

其实寂寞和交往并不抵触，有时候寂寞和孤独或许是一种财富，记得张爱玲就说过：“我们都是寂寞惯了的人”。

在寂寞的时候，能不能设法不让自己消沉，试着学点什么、看点什么、做点什么、和知你的人说点什么，这样可以让你自己充实一点。

等你充实和丰富的时候寂寞就将是一种快乐的体验，享用它你能做很多不寂寞时无法做的事，无法享受的乐趣。

只有在这样的时候，你就会深深体会有位名人说的：“寂寞是种清福”的真正含意。

2015.6.10

